



# 天文学の扉を開こう

## 10月の夜空

### 十三夜の月

先月13日の金曜日、中秋の名月をご覧になりましたか？当日群馬県では、夜半前まで厚い雲に覆われて、お月見はできなかったようです。夜半を過ぎると雲も抜けてきて、夜ふかしをしていた人は十五夜の月を見ることができたかもしれません。また、中秋の名月の翌日、14日土曜日の月は、今年最も遠い満月、つまり最も小さく見える満月でした。この日、ぐんま天文台では、吾妻地域の伝統的なお月見を楽しむ「たかやま観月会<sup>かんげつえ</sup>」というイベントを行いました。天気はあまり良くなかったのですが、雲間から満月がその姿を見せてくれる時間帯もありました。

そういうわけで、9月にお月見ができなかった人におすすめなのが、「十三夜の月」です。十三夜とは、本来の意味では、新月から数えて13日目の夜のことですが、中秋の名月(旧暦8月15日の十五夜の月)に次いで美しいといわれる、旧暦9月13日の月のことを「十三夜の月」と呼び習わしています。まん丸な満月の少し前の月ですから、写真のように左側が少し欠けた月となっています。十三夜の月は、中秋の名月の翌月に巡ってくることから、「後の月」とか「後の名月」ともいわれています。

十三夜は旧暦に基づいて決められているため、中秋の名月同様に毎年日付が変わり、今年の十三夜は10月11日金曜日です。中秋の名月は、おなじみのすすきや月見団子の他に、里芋をお供えする風習があるため、別名「芋名月」とよばれます。一方、十三夜のお月見では、栗や枝豆を供えることから「栗名月」とか「豆名月」ともよばれています。また、中秋の名月(十五夜)のお月見は中国から伝わってきたものですが、十三夜は日本固有の風習で、秋の収穫祭から派生したのではないかと考えられています。



### 10月のぐんま天文台のイベント

- ・12日(土) スマホやデジカメで月を撮ろう
- ・28日(月) 県民の日記念事業(観覧料無料)

#### ○星図の説明

10月15日午後9時の高山村の星空。  
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも  
同じ星空になります(「月」を除く)



フォト  
ショット



8/18 関田夏祭り



御神輿と一緒に



櫓を囲んで盆踊り

リトル  
ミュージアム

「世界の国旗を  
描きました！」



まにわ はると くん  
「大きくなったら、「野球選手」になりたいです！」



ほし あいり ちゃん  
「大きくなったら、「ケーキ屋さん」になりたいです！」

わが家の  
アイドル

※わが家のアイドル(6カ月~4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※^\_^) ☎26-7944(直通)



原 小池 悠真くん(2歳)

僕の名前は「ゆうま」です。  
お兄ちゃんが名前を考え、「何事にも前向きで真心を持った人に育ってほしい」と両親が漢字を考えてくれました。  
トーマスが大好きです！外遊びも大好きで、保育所から帰ると近くの公園で暗くなるまで遊んでいます。好きな食べ物はアイス。おばあちゃんが畑で作ったとうもろこしも大好きで、たくさん食べたよ！

★お兄ちゃん、お姉ちゃん、両親、祖母、家族みんなに愛されている悠真くん。生まれてきてくれて本当にありがとう！

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！気温も徐々に下がっていき、いよいよ秋らしい気候になってきましたね。

秋といえば「運動の秋」「食欲の秋」「読書の秋」です。高山村でも村民運動会や農作物の収穫など、この時期ならではの行事が盛りだくさんですね。

先日「若葉のふるさと協力隊」として、短期ボランティアの方が5名来村しました。その方たちは一生の思い出になるほど楽しい思い出になったそうです。これは、農家さん、郷土料理やこんにやく作りを指導していただいた方々の全力の後押しがあったおかげです。私はそのお礼として、今後の高山村での活動で、さらに村のために貢献していきたいと思えます。

「若葉のふるさと協力隊」が



終わった後、緑のふるさと協力隊の研修があり、同期の人から情報をたくさん得ることができました。そこで私は、今後の活動について目標を立てることができました。それは、高山村で農業についてさらに深く学ぶことです。研修で「様々な農法を体験できるのは高山村だけである」と再確認することができました。なお、農業の体験をできる期間は限られています。この貴重な時間を逃さぬよう精一杯頑張ります。

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>